

ODIP 3.4 修正パッチ (P1030400004812) リリースノート

2021/5/12

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容	4
1. プロセスマネージャのスキーマチェック機能の不具合を修正	4
2. リポジトリマネージャのエクスポート機能のメッセージを修正	4
B. バージョンアップによる影響	4
C. パッチの適用方法.....	4
1. ライブラリファイルの更新.....	5
2. パッチ適用後の確認.....	5

A. 変更内容

1. プロセスマネージャのスキーマチェック機能の不具合を修正

プロセスマネージャでテーブル・スキーマのチェックを行うとき、データセット情報で指定したスキーマが有効に働かないため、チェック対象テーブルが存在しているにも関わらずエラーが発生していました。

テーブルの存在チェック時、およびデータベースメタデータ取得時に、データセット情報で指定されたスキーマ名を参照するように修正されました。

2. リポジトリマネージャのエクスポート機能のメッセージを修正

リポジトリマネージャでエクスポートを行ったときに表示される完了メッセージが修正されました。

修正前「プロジェクト"X X X X"の選択された定義をにエクスポートしました。」

修正後「プロジェクト"X X X X"の選択された定義をエクスポートしました。」

B. バージョンアップによる影響

既存の定義への影響はありません。

C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP アドミニストレータ v3.4
- ODIP オペレーションマネージャ v3.4
- ODIP リポジトリマネージャ v3.4
- ODIP プロセスマネージャ v3.4
- ODIP リポジトリサーバ v3.4

1. ライブラリファイルの更新

ODIP_P1030400004812 フォルダには、表 1 の製品ごとのフォルダにライブラリファイルが含まれます。実行中の ODIP 製品を終了し、製品ごとのフォルダに含まれるすべてのファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP_P1030400004812 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1030400004812		ファイルのコピー先
lib	ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
	OPE	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
	RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
	RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ

2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表 2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから「Common user interface」のビルド ID が 1030400004812 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	ヘルプメニューから「ODIP について」を選択し、表示されたダイアログで「Process manager」、および「Common user interface」のビルド ID が 1030400004812 であることを確認してください。
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから「ORMS サーバ情報」を選択し、表示されたダイアログで「Common user interface」のビルド ID が 1030400004812 であることを確認してください。

以 上